

## 9月23日（日）、テレビ朝日放映の「大改造 ビフォーアフター」の概要



今回の依頼者は若手芸人、ロビンソンの山崎ノボル。芸歴 15 年目の 39 歳。同じ事務所の同期には、ハライチやサンシャイン池崎がいる。

都内の 35 平米の 1LDK の賃貸マンションに親子四人（妻 30 歳、長女 6 歳、次女 1 歳）で暮らしていたが、これから娘二人が大きくなることを考え、もう少し広いマイホームをと一大決心し、今年、埼玉県狭山市で分譲団地を購入した。昭和 49 年に建てられた、築 44 年の 32 棟建てのマンモス団地。まだ下の子が小さく、ベビーカーが必要なこともあり、購入したのは五階建ての一階の部屋。六畳の和室と四畳半二間にダイニングキッチンがついた広さ 50 平米、3DK の間取りだ。今、住んでいる家より広さは 1.5 倍になり、これまでなかった押し入れもあるのだが、築 44 年だけに老朽化が目立ち、家中の床のいたるところが抜け落ちそうな危険な状態。南向きのベランダに面したキッチンは、明るくて広さはあるものの、台所の設備も古いまま。浴室も、その昔、公団住宅向けに普及した浴室内に設置する古いタイプのガス風呂釜（バランス釜）。床のタイルの傷みもひどく、あちこちでひび割れが発生。そのひび割れに流れた湯がしみこみ、床下が腐っている恐れもある。

予算はなんと 200 万円。フルリフォームとしては低予算リフォームの助っ人として立ち上がったのは、元 K1 チャンピオンの格闘家、魔裟斗と、お笑い芸人の渚（尼神インター）。そして今回二人を率いるのは、リフォームの匠、池田佳人。それぞれの家族の生活にフィットする無理のない家作りをモットーに掲げる彼を人は、「身の丈の住作家」と呼ぶ。果たして匠はどんなリフォームを繰り広げるのか？

- 取材協力：自治会・管理組合・NPOグリーンオフィスさやま
- 部屋のリフォーム協力：団地生活デザイン代表の山本誠（NPOグリーンオフィスさやまの理事）
- 庭のリフォーム協力：緑化推進本部のスタッフ（加藤・鈴木・毛塚）

### ビフォー・アフターの 1 コマ



